



2023-24 年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Report Niigata



2023~24 年度
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 5 月第 1 例会 (2024.5.7) (Zoom 例会併催) No.3505

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さん、こんにちは。長期休暇が終わりまして、連休明けの御忙しいところ例会参加いただき有難うございます。連休中は天候にも恵まれまして、皆さんも帰省や旅行と楽しいひと時を過ごされたのではないかと思います。私事ではありますが、連休後半は二十歳の娘に中古車を買いましてその納車へ金沢まで行ってきまして、金沢の街中を娘の運転で冷や冷やしなが走り回って参りました。何とか生活圏内は運転できるレベルまで行けたようですので一安心といったところがあります。さて、5 月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」であります。今後益々少子高齢化が進む日本において、ロータリーは、明日の日本を背負っていけるリーダーを育てる事の重要性を理解し、様々なプログラムや活動を通じて、若者たちのリーダーシップを養い、そしてそれを地域社会へ還元させていくことが大切であると考えています。青少年奉仕月間にあたり、それぞれの成り立ちと活動について少しお話をさせていただきます。まず、インターアクトクラブですが、1960 年代初めに、世界中のロータリアンの中から各大陸で 5 名を選抜し、委員会を構成し、ロータリークラブをモデルとして 12 歳から 18 歳までの高校生を対象として結成された奉仕クラブです。インターアクトの名称は「インターナショナル」と「アクション」の合成語であります。教師一名と地元ロータリアンが顧問を務め、会員は、ロータリークラブと共に活動しております。新潟クラブでは、今年度は毎年 12 月に開催しておりますクリスマス献血奉仕活動をホストとして継続的支援をいたしました。次に、ロータリーアクトクラブについてですが、インターアクトが活発になってくると、18 歳以上の人達に対する奉仕プログラムがないという、ロータリーとしての奉仕の流れの途切れに気づきました。そこで、1968 年アメリカのシャーロットロータリークラブで、18 歳から 30 歳までの若い人達を集め、最初のクラブが発足しました。社会奉仕を志し、高い道徳基準を備え、同じ奉仕を目指す人々との交友を求め活動しています。新潟クラブでは、高橋新潟 RAC 会長の下、より広範囲な活動ができるように活動資金の継続的支援を行っております。次に、RYLA についてですが、1959 年にオーストラリアのブリスベンロータリークラブが主催

し、10 代の若者たちが交流・文化・教育活動がぎゅっと詰まった日程に参加し、クラブは参加者の素晴らしさに感銘し、また参加者もこのプログラムがどれほど個人的成長を助けたかについて賛辞を惜しまなかったため、このプログラムは毎年継続・拡張され、オーストラリア国内に広がりました。1971 年 RI 理事会は正式にロータリー青少年プログラムとして、RYLA を採択しました。RYLA とは、Rotary Youth Leadership Awards の略で、青少年指導者育成プログラムと訳されています。2560 地区では、今年度 10 月に開催されました。次に、青少年交換についてですが、デンマークのコペンハーゲンロータリークラブが 1972 年アメリカの少年数人を受け入れる手配をしたことに始まりました。現在は国際ロータリーの常設プログラムとなっています。15 歳から 19 歳までの多くの学生が数週間又は 1 年間という期間限定で他国の家庭にホームステイします。そして、自分の地域を超えた世界を意識し始めた年齢の彼らに異文化への配慮を教える素晴らしい出発点となっています。コロナ禍では留学生の派遣、受入が中止となっておりましたが、今後再開していくものと思います。以上 4 つが青少年奉仕といわれるものでそれぞれの委員会が常設されているわけですが、新潟クラブでは、これとは別に青少年育成基金管理委員会があります。これは、新潟クラブ 50 周年を記念して青少年育成を目的に設立された基金であります。基金設置規則によりますと、第 5 条に、この基金は、学術・文化・スポーツで優秀な成績をおさめた青少年の表彰や援助、青少年育成に努力していると認められる団体や個人に対する表彰や援助に利用されることとあります。また、第 7 条では、事業資金は、当年度の寄付および受取利息の範囲内で当年度中に事業を行い、残金はこれを基金に繰り入れるとありまして、今年度は皆さんから青少年育成基金へ約 20 万円ほどの寄付がありましたので、その範囲内で 2 団体へ今月末寄付させていただく予定となっております。この基金ですか、当初基金 1400 万円として創立 50 周年記念事業費より拠出されたわけですが、現在は 4800 万円という多額の基金残高となっております。あくまで私見ではありますが、この規則第 7 条を改正してもう少し柔軟に青少年育成に利用できればと思った次第であります。今後も、ロータリアンとして青少年奉仕の重要性を改めて自覚し、継続的かつ積極的な支援の在り方を考えていかなければならないと思いました。以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

- (3) 米山奨学生余子慶さんへ奨学金贈呈挨拶
- (4) 100%出席バッチ贈呈
小林 慶直君 1年 高橋 秀樹君22年
- (5) 誕生日お祝い贈呈(5名)
- (6) 結婚記念日お祝いの紹介(11名)
- (7) ロータリーの友ご紹介(榎本隆克広報会報雑誌委員)
- (8) 若槻良宏グローバル奨学生カウンセラーより
奨学生の近況報告
- (9) 新会員の紹介



農林中央金庫富山支店
新潟県担当部長 杉村章君
ご紹介 五十嵐豊君
所属委員会 親睦委員会

皆さま、はじめまして。この度、歴史と伝統のある新潟ロータリークラブに入会させていただきました、農林中央金庫新潟県担当の杉村と申します。生まれは北海道ですが、育ちは高校卒業まで大阪で育ちました。農林中金入庫後は、岡山→東京→札幌→大阪→東京→富山→東京と、様々な転勤を経て、この4月に新潟に参りました。新潟県は、富山支店勤務時代に新潟県に取引先があり、定期的に訪問しておりました。大学時代からアウトドア活動は好きで、キャンプやスキー等を通じ、この地の魅力を味わいたいと思います。また、食事とお酒も好きなので、健康に留意しつつも、これから存分に堪能していく所存です。ロータリークラブでの活動は初めてとなりますが、精一杯、地域のお役に立てるよう精進してまいります。皆様のご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



損害保険ジャパン(株)新潟支店
支店長 村山 洋一郎君
ご紹介 佐藤隆夫君
所属委員会 プログラム委員会

1973年(昭和48年)生まれの50歳。長野県出身。新潟は単身赴任で、自宅は東京となります。家族は妻・男子3人(高1・小5・小3)。独り立ちまではまだまだ程遠い状況です。仕事は入社27年目。15歳で故郷の信州安曇野を出てから引越は今回で12回目。これまでの勤務地は東京以外であれば長崎・広島・奈良、なぜか修学旅行で行くような観光地ばかりでした。新潟では担当テリトリーが県全域なので、2~3週間のご挨拶まわりだけでも車で2,300km移動。新潟の美しい海岸線の長ささと壮大さに圧倒されました。既にやすらぎ堤周辺の風景が大好きなビューポイントになっています。これから身体いっぱい新潟を満喫したいと思います。よろしくお願いいたします。

- (10) 各種ご寄付の発表
ロータリー財団寄付発表(石川 治彦委員長)
若槻 良宏君 本多 晃君
高山 克幸君
米山奨学会寄付発表(高橋 智則委員)
石橋 正利君 織戸 潔君
五月女政義君 高橋 智則君
高山 克幸君 徳永 昭輝君
青少年育成基金寄付発表(高山 克幸委員長)
本間 彊君 石橋 正利君
高山 克幸君

- (11) ニコニコボックス紹介(福満 純幸委員)

- ・高橋 秀松君 ちょっと良い事がありました。
- ・五十嵐 豊君 農林中央金庫 杉村章さん、ロータリークラブ入会おめでとうございます。ロータリークラブを楽しんで皆でニコニコしましょう。
- ・小林 慶直君 誕生日のワインありがとうございます。妻とおしくいただきました。
- ・佐藤 明君 結婚記念日の花ありがとうございます。2人で記念日を思い出して喜べました。

- (12) 本間 彊君へ マルチプルポール・ハリス フェローピン贈呈

- (13) 幹事報告(小川 潤也幹事)

- ・理事会報告
- ・ロータリーレートが1ドル157円に変更になりました。

- (14) 5月7日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
84	84	77	91.67%

Zoom 参加 9名

5月14日の例会プログラムは

卓話「職場のメンタルヘルスケアの新たな取組」

社会保険労務士法人ふじた事務所

特定社会保険労務士 遠藤 直美氏

合同会社つばさ産業医オフィス 代表 鈴木 翼氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

5月7日 理事会報告 出席者 13 名

- 1 青少年育成基金贈呈先について=承認
「ボランティアサークルささだんご」と「一般財団法人新潟市母子福祉連合会」の2団体へ10万円づつ
- 2 入会推薦の件=承認
ダイダン(株) 新潟支店長 高橋 英敏君
推薦者 高橋 秀松君 澤田 尚君
- 3 台湾東部地震義捐金について=承認
@1000円×84人=84,000円を義援金として地区事務局へ送金。
- 4 名取ロータリークラブお見舞金(10万円)について=承認
社会事業基金より40万拠出し、名取 RC の10万円と合わせ、50万円を新潟市へ寄付。
- 5 2024 年決議審議会決議案提出のお願いについて=承認
会員へメールで案内を送付予定。
- 6 5月のプログラム=承認
5月 7日 第一例会につき卓話なし
5月14日 卓話「職場のメンタルヘルスケアの新たな取り組み」
社会保険労務士法人ふじた事務所特定社会保険労務士 遠藤 直美氏
5月21日 卓話
オイシックス新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
監督 橋上 秀樹氏
5月28日 青少年育成基金贈呈表彰
・一般財団法人新潟市母子福祉連合会 事務局長 村山 郁枝氏
・ボランティアサークルささだんご
- 7 その他
・石川さんの会社の倉庫が火災にて半焼。クラブよりお見舞金を進呈。金額は会長一任。
・米山奨学生余子慶さんへの令和6年9月からの奨学金延長の件、6月理事会で審議 予定